プロジェクト

ごちゃ混ぜの学び

永井弘美

2025 年に発足したごちゃまぜ学びプロジェクトは、年齢や立場を越えた出会いと対話を通して、多様な他者と共に学び、共に育つ文化を育む取り組みである。異なる経験や価値観に触れることで視野を広げ、互いを尊重し支え合う関係を築くとともに、子どもから大人まで一人ひとりが居場所と役割を感じられる、温かなコミュニティの創造を目指している。以下に、プロジェクトの企画だけではないが、今年度学内で行われた、部を越えての活動を紹介する。

おこなった企画

＜餅つきイベント＞2026 年 1 月 10 日

ごちゃまぜ学びプロジェクトの一環として実施した餅つきイベントは、大きな事故なく終了した。幼児から学生、教職員、保護者までが集い、世代や所属を越えて同じ時間と空間を共有する機会となった。





餅つきイベント　生活団（親子）～リビングアカデミーまでの参加者でにぎわう。初回は 50 名限定とした。

「まずはやってみる」ことを重視して実施した結果、多様な立場の人々が自然に集い、交流する場をつくることができた。特に、部門を越えた教職員同士の協力や、保護者が学園内の多様な人々とつながる機会が生まれたことは大きな成果であった。

一方で、導線設計や人員配置など運営面には課題が残った。また、同じ場に集うことはできたものの、参加者同士の交流をさらに深めるための工夫が必要であることも明らかになった。

今後は、継続的な実施や他プロジェクトとの連携も視野に入れながら、豊かな交流が生まれる仕組みづくりにもつながるように、「ごちゃまぜ」の関係性をさらに深めていきたい。

＜キャロリング活動＞12 月 2 日～15 日

12 月 2 日から 15 日までの 10 日間、正門付近で、宗教主任・松坂政広を中心に早朝のキャロリング活動が行なわれた。静かな朝の学園に、有志の数名による讃美歌の歌声が響き、アドベントから降誕へと向かう季節を感じる時間となった。

登校や出勤の途中に足を止めて耳を傾ける人の姿も見られ、部門や世代を越えてクリスマスを待ち望む気持ちを分かち合う機会となった。礼拝とは違う場で、日常の中で心を合わせて歌う活動は、学園のつながりや温かさを感るひと時でもあった。

＜掃除プロジェクト＞12 月中旬

生活団のワックスがけ、初等部の屋根・地下掃除、総務

部の屋根清掃やリヤカーの塗装を実施した。学部生や高等部生徒と協働しながら作業を進める中で、世代や部門を越えた交流が生まれた。また終了後は生活団の子どもたちと一緒に園庭で鬼ごっこなどの自然な関わりも見られた。

＜生活団ページェント礼拝参加＞12 月 18 日

高等部生徒が生活団ページェント礼拝に参列した。高等部との関わりをきっかけに、親しみのある顔ぶれで、子どもたちの劇を保護者と一緒に温かく見守った。

＜午餐会（中高大）を通して＞12 月 19 日

中高大合同の午餐会において、生活団の子どもたちが讃美歌を披露した。

高等部からは「もの森」の植林活動で生まれた積み木が生活団へ贈られた。これは「生活に根ざした学びプロジェクト」として行われた。

それぞれの活動や学びを分かち合う機会となり、世代を越えた温かな交流が生まれた。

＜昔遊び交流＞

リビングアカデミー（以下 LA）生の吉祥さんからぶんぶんゴマあそびを教わる。年間 3 回ほど実施。偶然訪れていた学部生も加わって交流の場が生まれた。コツをつかんだ子どもたちは夢中になって遊び、学部生や大人たちもその楽しさを共有することができた。

昔遊びを知る世代から若い世代へ、さらに子どもたちへと遊びが受け継がれていく姿が見られ、世代を越えた学び合いの豊かさを実感する機会となった。自由学園ならではの環境を生かした、温かな「ごちゃまぜ」の交流となった。



ぶんぶんゴマの遊びかたを教わる子どもたち

＜LA－中高「お茶を飲む会」＞12 月 11 日

LA と中高生による「お茶を飲む会」を開催した。お茶を囲みながらゆっくり語り合う時間を持つことで、世代を越えた自然な交流が生まれた。

会は終始和やかな雰囲気で進み、最後は笑い声に包まれる温かなひとときとなった。当日は抹茶の提供に加え、ぶんぶんゴマなどの昔遊びも取り入れられ、参加者同士が遊びを通して関わる姿が見られた。年齢や立場を越えて時間を共有し、互いを身近に感じる機会となった。



和やかな雰囲気でお茶の会を楽しむ

＜その他＞

・生活団遠足への高等部生の参加、・英語活動への学生の協力、・地域の未就園児向けイベントへの高等部生有志の参加など、日常の教育活動の中でも世代や立場を越えた関わりが広がった。これらの活動を通して、子どもたちが多様な年齢層と出会い、交流する機会が生まれた。



生活団にて　空きコマの学生が関わりを楽しむ



LA と中高生の関わり



「自由学園で思いっきり遊ぼう」5 月 24 日には中高のテーマ探求のグループで発足した「全校探求部」の生徒 6 名がお手伝い

＜現在進行中または検討中＞

・校内交換留学「各部へお食事を食べに行く企画」実施
・初等部「こどもの時間」サポート～様々な部から参加
・教職員交流 BBQ
・部を超えた食材交換　　等

＜おわりに＞

　これまで、餅つきイベントなどの様々な実践を通して、学園内に「ごちゃまぜ」の学びの場が広がった。もともとあった関わりにも注目した。これらの積み重ねにより、子ども・生徒・学生・教職員が互いをより身近な存在として感じ、学び合い、支え合う関係が育まれつつあることを感じている。

　今後も学園にもともと息づく豊かな関係性を大切にしながら、そのつながりをさらに深め、共に学び共に育つコミュニティの充実を図っていく。

〈ごちゃ混の学びプロジェクトのメンバー〉
生活団：荒井・永井
中等部：齋藤
高等部：高松・中川
L　A：石川
広　報：佐藤綾乃
オブザーバー：藤・松元・入海・松坂・更科・山本